

令和 2 年度
長崎県公立学校若手第 2 ステージ研修（高等学校）

実施細目

1 目的

長崎県公立学校若手第2ステージ研修（高等学校）は、県立高等学校に勤務する本務経験6年目から10年目の教諭等が自己の課題に応じて計画的に研修を行い、プレミドルリーダーとして組織運営に参画する力や学習指導や生徒指導等の専門性を高めることを目的とする。

2 研修の期間

研修期間は、本務経験が6年目に該当する年度の4月1日から10年目に該当する年度の3月末日までとする。

3 研修の内容

校長の指導の下、年度ごとに次の（1）及び（2）に定める研修を実施する。ただし、（1）の研修については、4に定めるとおり代替することができる。

（1）センター研修等

自己の課題を踏まえ、以下の研修講座等を各年度1回以上選択して受講する。なお、該当者として以下の研修講座等に参加する場合もセンター研修等を受講したこととしてみなすことができる。また、担当する教科に関する県教育センター主催の研修講座を若手第2ステージ研修の期間中1回は選択するものとする。

県教育センター主催の研修講座、公開講座、セミナー等

教育庁各課・室、人権・同和対策課主催の研修会・説明会（教育課程説明会も含む）

市町教育委員会主催の研修会

文部科学省が主催、共催、委託する研修等

（2）校内研修

所属校において、次の 及び の研修を実施する。

教科研修

・研究授業や教科に関する校内研修の企画・運営等、自己の課題に応じた研修を各年度1回以上計画・実施する。

メンター研修

・「メンター研修実施要領」を参照すること。

4 研修の代替

3の（1）に示すセンター研修等については、以下の講習、研修会等に参加することをもって参加した年度の研修に代替することができる。

（1）免許状更新講習の受講

（2）研究指定校での研究実践・視察

- ・3の（2）の校内研修として実施したもの以外に年間を通して取り組む研究実践等、センター研修等に相当する研修効果があると校長が認めるもの。
- ・研究指定校の研究実践を視察し、校長の指導の下、校内の職員に伝達する等、学校に還元することができたと校長が認めるもの。

(3) 各種研究大会の運営・参加

- ・ 研究大会を運営し、中核的な役割を担っていると校長が認めるもの。
- ・ 研究大会に参加し、校長の指導の下、校内の職員に伝達する等、学校に還元することができたと校長が認めるもの。

5 研修の記録

(1) 研修の報告

各年度の研修終了後に個人で振り返りを行い、記録票(様式1)に記入し、校長に提出する。校長は成果と課題を聴取した上で、助言を行い、返却する。

(2) 記録の保管

記録票(様式1)は、各自で保管する。

若手第 2 ステージ研修の記録票

研修者氏名

研修		研修期日	研修内容	校長印
6 年 目	センター研修等	令和 年 月 日 ()		
	校内研修	令和 年 月 日 ()		
7 年 目	センター研修等	令和 年 月 日 ()		
	校内研修	令和 年 月 日 ()		
8 年 目	センター研修等	令和 年 月 日 ()		
	校内研修	令和 年 月 日 ()		
9 年 目	センター研修等	令和 年 月 日 ()		
	校内研修	令和 年 月 日 ()		
10 年 目	センター研修等	令和 年 月 日 ()		
	校内研修	令和 年 月 日 ()		